

八尾地域 まちづくりと公共施設の 「これから」を考えるワークショップ

12月21日（土）及び
1月19日（日）に
開催しましたワーク
ショップについて
お知らせします！

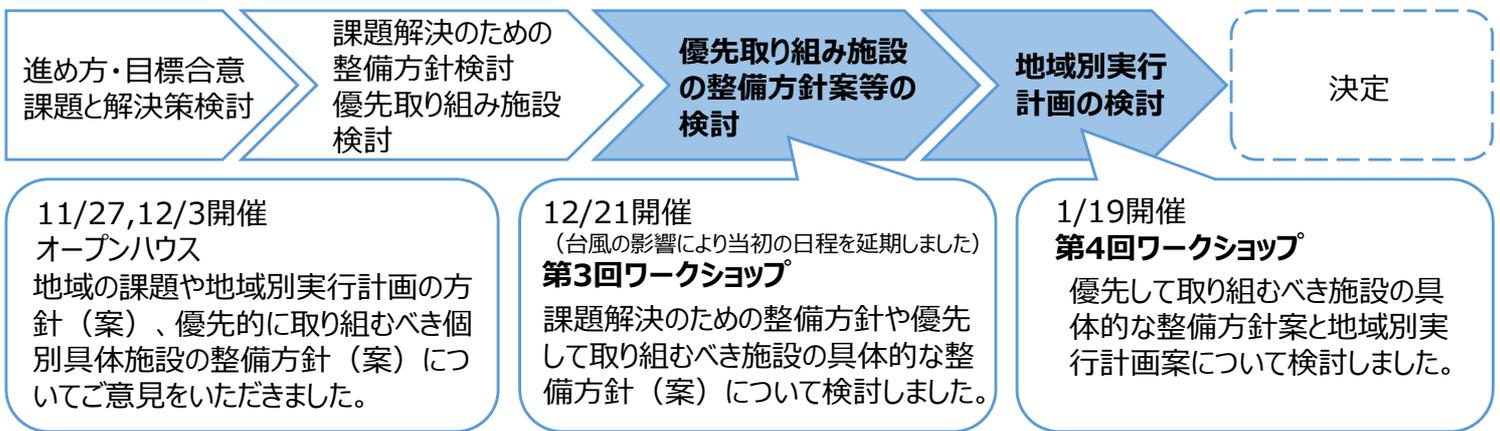
富山市では、今年度、八尾地域の公共施設のあり方について、地域にお住まいの皆様と富山市がともに考えるワークショップを開催しています。12月21日(土)に第3回ワークショップ、1月19日（日）に第4回ワークショップを開催しましたので、その内容をお知らせします。

また、ワークショップで話し合われている内容や地域別実行計画策定に向けてのご意見を募集しています。

検討の進め方

富山市は、このワークショップをはじめ、広く地域の皆様からいただいたご意見を反映させた、八尾地域における公共施設の用途別に将来の整備方針を定める「地域別実行計画」を策定します。

策定までは、下図のように段階的に検討を進めます。



オープンハウスを開催しました！

八尾地域では、八尾コミュニティセンターと八尾健康福祉総合センターの2会場にてオープンハウスを開催しました。

これまでのワークショップで検討されてきた地域の課題や地域別実行計画の方針（案）、優先的に取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）について、パネルを用いて事務局職員が説明を行い、ご意見をいただきました。



日時：令和元年11月27日（水）11時～18時30分（八尾コミュニティセンター）、令和元年12月3日（火）9時30分～12時30分（八尾健康福祉総合センター）

対象：八尾地域にお住まいの方

アンケート回答者数：23名（八尾コミュニティセンター）、17名（八尾健康福祉総合センター）

年齢 20代以下 9名／30代 5名／50代 1名／60代 11名／70代以上 9名／不明 5名

地区 杉原 13名／保内 5名／八尾 11名／卯花 2名／室牧 1名／黒瀬谷 1名／野積 1名／その他 1名（婦中）／不明 5名

性別 男性 12名 / 女性 28名

主な ご意見

「A案」：そもそも、健康福祉総合センターと行政サービスセンターが分かれているのが、窓口が分かりにくく不便。

※この他のご意見やアンケート結果については、ホームページをご覧ください。

地域の将来的な公共施設の再編方針（案）

第3・4回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した、地域の将来的な公共施設の再編方針（案）について、追加すべきことや気になる点について、ご意見をいただきました。

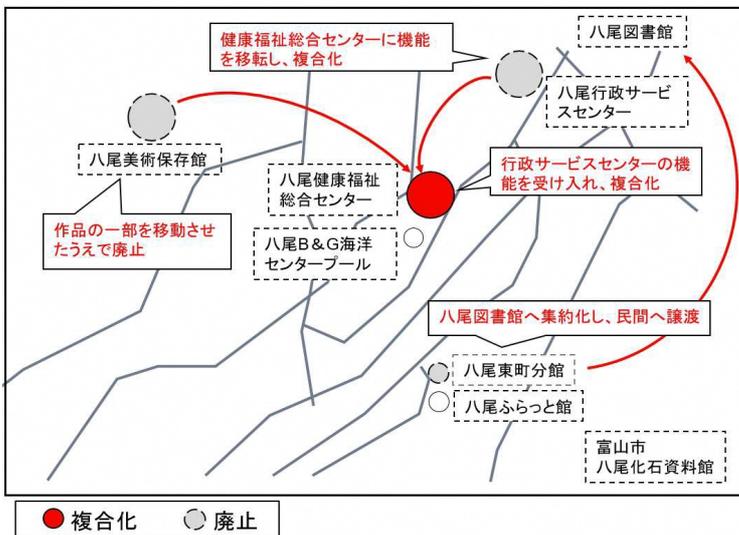
分類	対象施設	今後の方向性案	具体的な中長期的取組み	具体的な短期的取組み
(1)集会施設	八尾公民館、保内公民館、杉原公民館、卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、室牧地区コミュニティセンター、黒瀬谷公民館、野積地区コミュニティセンター、仁歩地区コミュニティセンター、大長谷交流センター、八尾ふらっと館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 9地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターのいずれかを存続させる。それ以上にある集会施設については、集約化を進める。 ○ 中山間地域など人口減少が著しい地域における公民館等の改築に際しては、空き家等の借上げ方式を検討する。 ○ 利用者の利便性向上に向け、地域で運営することにより、地域コミュニティとより密接な連携が図れると考えられる場合は、地元団体への管理運営委託等、運営体制の見直しを行う。 ○ 存続する施設については、地理特性を考慮し、望ましい形を検討する。 ○ 地区ごとに避難所が配置されるよう配慮する。 	短期での再編の対象外の施設については当面存続するが、改修などの際には、利用状況や地区の状況などを勘案した設備・規模等の見直しを行う。	卯花公民館（卯花地区コミュニティセンター）、黒瀬谷公民館、黒瀬谷交流センター、八尾農村環境改善センターについては、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。検討にあたっては、利用者の意見を踏まえる。
(2)文化施設	八尾コミュニティセンター、八尾コミュニティセンター分館・杉風荘	<ul style="list-style-type: none"> ○ 稼働率が低下している施設は、廃止や民間への譲渡を進める。 ○ ホールについては、その将来的な存続や規模のあり方について、地域の中での役割、周辺の類似施設との連携等を進めていく。また複合化・多機能化を検討し、地域活動の拠点として必要となる機能を整備する。 	-	優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。
(3)図書館、博物館等	八尾図書館、八尾東町分館、八尾美術保存館、八尾化石資料館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域図書館・分館については、利用率や地域バランス、学校図書館等との連携を踏まえ、適正配置に向けて廃止や統合を視野に入れた見直しを行う。 ○ 博物館等については、多くの方に見てもらうようにするために、人の集まる場所への移転を視野に入れ、積極的なPRにより利用者増を図っていく。 	今後も存続する施設については、効率的な運営や適切な維持管理を図る。	施設の収蔵品等の他施設での展示など、そのあり方を検討する。八尾図書館、八尾東町分館、八尾化石資料館、八尾美術保存館については、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。
(4)スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）	八尾スポーツアリーナ、八尾B&G海洋センタープール、スポーツ・カヌーセンター、八尾ゆめの森テニスコート、八尾パインパーク、八尾サンパーク	<ul style="list-style-type: none"> ○ いくつかの地区コミュニティセンター等にも体育館を備えていることを踏まえて、将来にわたって改善が見込まれないことが判断できる施設については、廃止・統合を行う。 ○ 利用率が低い施設は運営方法の改善を行う。 	機能の重複する施設、稼働率の低い施設については、廃止や集約化などを検討する。	利用者の意見に配慮しつつ、夜間使用の中止など、運営方法の改善を行う。
(5)レクリエーション、観光施設	おわら演舞場、おわら資料館、曳山展示館、ほたるの里農村公園、県立自然公園、神通川水辺プラザ、白木峰山麓交流施設、八尾ゆめの森（ゆうゆう館一帯）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多くの方に利用してもらうために、積極的なPRや他の施設との機能連携により利用者増を図っていく。 ○ 宿泊・入浴施設については、民間への事業移管を進め、困難なものは廃止する。 ○ 観光施設については、観光客が利用しやすいように、相互利用の促進、連携強化などにより各観光施設の連携を図る。 	利用率の低い施設については、大規模改修が必要となった場合には、地元や民間への譲渡、または廃止する。	県立自然公園、白木峰山麓交流施設については、白木峰山麓体験農園との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。各観光施設との連携強化、積極的なPRや他の施設との機能連携により利用者増を図っていく。ほたるの里農村公園については、優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。
(6)産業系施設	白木峰山麓体験農園、林業総合センター	産業振興施設については、民間または地元団体が運営を行い、施設の活用促進のため、譲渡などを検討する。	林業総合センターについては、大規模修繕が必要な状態となった場合は廃止する。	白木峰山麓体験農園については、県立自然公園、白木峰山麓交流施設との一体的な運営など、さらなる利用促進を図るため、民間企業による運営や地元団体への譲渡などを検討する。
(7)学校	八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、檉尾小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適正な教育環境の確保という観点から、学校統廃合を含め、今後の小中学校のあり方について、地域の意見も踏まえながら継続的に見直しを進める。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を行う。将来の人口動態を見据え適正な規模とするために、老朽化が進んだ場合や、児童数が著しく減少した場合は、他用途への転用を行ったり、大規模改修の際に減築を行う。 	児童数の推移を見極めながら、今後の小学校のあり方について見直しを行う。	適正な教育環境の確保という観点から、児童数の推移を見極めながら、学校統廃合を含め、地域における今後の小学校のあり方について検討を進める。
(8)幼保・こども園（保育所）	八尾保育所、福島保育所、黒瀬谷保育所	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保すると同時に、園児数が少ない保育所については、統廃合を継続的に検討する。 ○ 老朽化が進む施設について、安全性の確保及び機能維持を図る。 	施設の老朽化や園児数の減少が著しい状況となった場合は、統廃合などの見直しを行う。	-

分類	対象施設	今後の方向性案	具体的な中長期的取組み	具体的な短期的取組み
(9)保健施設	八尾健康福祉総合センター	○ 利用者の利便性向上に向け、周辺施設との再編にあわせ、複合化や多機能化を実行する。		優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。
(10)庁舎等	八尾行政サービスセンター	○ 老朽化が著しいことから、他施設への機能移転を図る。		優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針の中で検討する。

優先して取り組むべき個別具体施設の整備方針（案）

第3・4回ワークショップでは、第1・2回ワークショップで出された意見をもとに作成した3つの案について、追加すべきことや気になる点など、ご意見をいただきました。

A案 行政機能の拠点形成を図るプラン



- 行政サービスセンターの機能を健康福祉総合センターに複合化し、美術保存館の作品の一部を展示する
- 図書館東町分館があった場所は、民間への売却や賃貸等で公益以外での活用を図る

長所

- アクセスの良い、八尾地域のほぼ中心に拠点ができる
- 市民サービスのワンストップ化が図られる
- 洪水の浸水想定区域外に立地している

課題

- 行政機能のみの集約となり、他の機能との複合化が図られない
- 人口の多いエリアと拠点の立地が整合していない

第3回での 主な ご意見

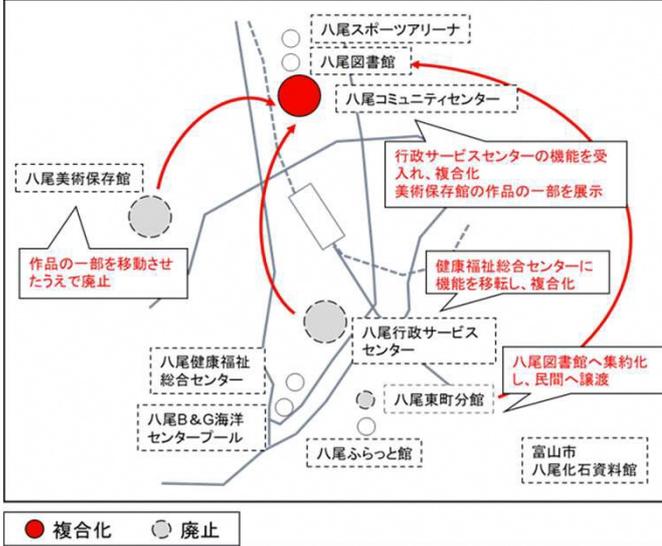
- 行政機能が八尾健康福祉総合センターに複合化されても、アクセス面はこれまでとそう変わらず、生活行動の変化もないため住民の抵抗がないと思う。
- 行政機能を分散配置すると不便である。1箇所に集約した方がよい。
- 車を利用しない者にとっては、バスが通る八尾健康福祉総合センターに複合化された方が便利である。
- 洪水の浸水想定区域外に立地しているため、災害時の安全面では最も良い案である。
- 八尾健康福祉総合センターに行政機能と美術保存館の作品の一部が展示される場合、広さは足りるのだろうか。これまで利用していた方々が不便にならないように配慮してほしい。
- 市民サービスのワンストップ化を考えると、教育関係の部署は必ずしも一緒にしなくても良いと思う。（B案に対しても同様）

第4回での 主な ご意見

- 水害の心配がないのであればA案が良い。
- これまでと生活圏の変化が少ないため、受け入れやすいだろう。
- 八尾健康福祉総合センターは浸水想定区域外ということだが、近年は大雨も多く気候も変動しているので、今後は浸水の危険性があるのではないかと心配だ。浸水想定区域外だからと安心せず、十分な対策は練ってほしい。
- 行政機能は分散すると不便で、ワンストップ化できることは魅力である。機能が充実するならば、健康福祉総合センターに集約するのは、利便性が高まり良いだろう。全てを集約できない場合は、行政機能は八尾健康福祉総合センター、教育機能は八尾コミュニティセンターに分ければ良い。
- 行政機能を八尾健康福祉総合センターに複合化するには面積が足りないのではないか。その場合、拡張等によりコストがあがることも加味してどの案にするか決めてほしい。
- 八尾健康福祉総合センターの風呂は必要なかが疑問。
- コスト面で現実的な選択肢は、A案かB案になると思う。

B案 地域の多機能拠点形成するプラン

- 行政サービスセンターの機能(福祉を除く)を八尾コミュニティセンターに複合化し、美術保存館の作品の一部を展示する
- 図書館東町分館があった場所は、民間への売却や賃貸等で公益以外での活用を図る



長所

- 人口の多い八尾地域北部に拠点が形成される
- スポーツアリーナや図書館等、多様な機能との複合化が図られる

課題

- 福祉部門は健康福祉総合センターにあるため、ワンストップ化が図られない
- 洪水発生時の浸水想定区域内に行政サービスセンターが立地する
- 八尾地域南部からアクセスが悪くなる

第3回での 主な ご意見

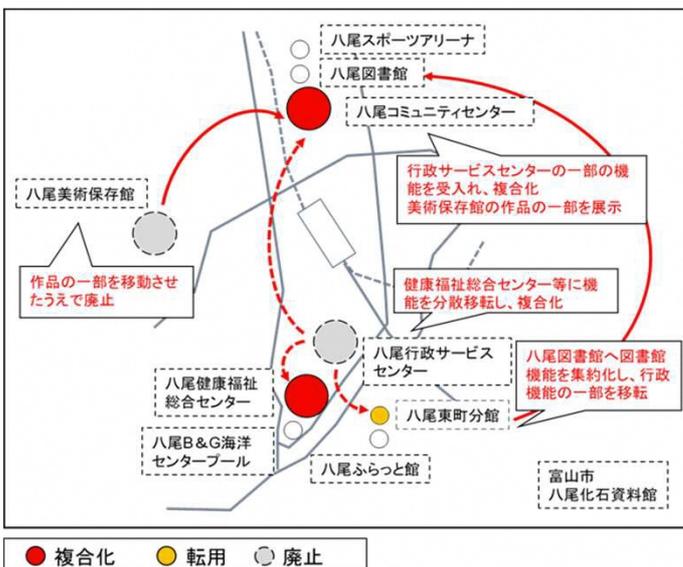
- 行政機能を浸水想定区域内に移転するのは疑問で、安全面からも適していないと思う。災害に備えてどのような対策をとるのか、避難場所や避難方法についてもあわせて検討してほしい。
- 不特定多数が出入りする施設が学校近くにあることで防犯面の不安がある。
- 公共施設が北部の杉原地区に一極集中する案となるため、他地区住民から異論が出るのではないかと。
- 公共施設が1箇所に集中することで、道路が混雑し、駐車場も収容しきれなくなるのではないかと。
- 車を運転する立場からすれば、行政サービスセンターがどこにあっても利便性はあまり変わらないので、1箇所に集約するメリットは感じない。
- 八尾コミュニティセンターに美術保存館の作品を展示することは、多くの人の目に触れて良いことだと思う。(C案に対しても同様)

第4回での 主な ご意見

- B案は課題をあえて多くしているように感じる。A案に誘導したい市の意図があるように見える。
- 八尾地域南部からのアクセスが悪くなるとあるが、北部の周辺住民にとっては、アクセスが良くなるのでB案だとありがたい。
- 洪水発生時の浸水想定区域内となっているため、安全性の確保についてはしっかりと検討してほしい。
- 「洪水発生時の浸水想定区域内に行政サービスセンターが立地する」とあるが、市が対策まで考えていることがわかる表現にした方が良いのではないかと。

C案 行政機能を分散して確保するプラン

- 行政サービスセンターの機能を八尾コミュニティセンター、健康福祉総合センター、ふらっと館に分散して配置する
- 八尾コミュニティセンターに美術保存館の作品の一部を展示する



長所

- 災害発生時等の行政機能のリスク分散が図られる
- 改修等の施設整備費の負担が少ない

課題

- 分散配置により市民サービスのワンストップ化が図られない
- 分散配置となるため、拠点性が向上しない
- 運営コストが大きくなる

第3回での
主な
ご意見

- 機能分散することで利用者の利便性が低くなり、コスト削減にも貢献していないのではないか。
- 機能分散することで利用者が不便になる上に、行政間の連携も難しくなるのではないか。
- どの機能がどの施設にくるのが分からないためになんとも言えないが、八尾地区住民にとってはふらっと館に機能分散するのではなく、八尾公民館に機能分散の方が親しみが持てると思う。
- 行政機能を分散する案になるのであれば、八尾東町分館を八尾小学校図書室と統合して市民開放してほしい。
- 行政機能が移転すると、移転先の地区の地区センター機能は廃止になるのか。また、移転元に地区センター機能は新設されるのか。(B案に対しても同様)

第4回での
主な
ご意見

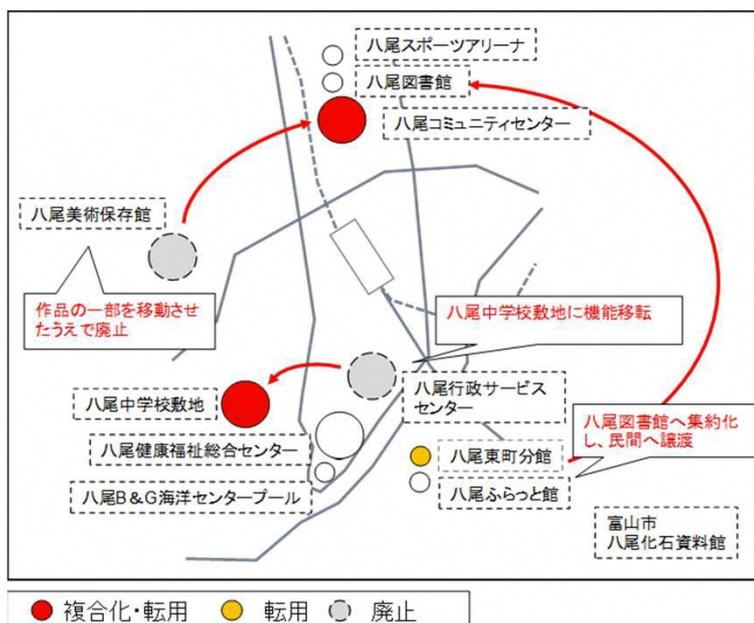
- 杉原地区住民にとっては便利になり良いが、八尾地域全体として考えるとそうとも言えない。全体のバランスを見て検討していかなければならないだろう。(B案に対しても同様)

- **第3回で「安全なエリアである中学校跡地に新たに複合施設をつくり、全ての機能を集約するという計画はどうだろうか」との意見がありましたので、第4回では次のD案を追加し、検討していただきました。**

D案

中学校跡地に行政サービスセンターを整備するプラン

- 行政サービスセンターの機能を八尾中学校跡地に機能移転する
- 八尾コミュニティセンターに美術保存館の作品の一部を展示する



長所

- アクセスの良い、八尾地域のほぼ中心に行政サービスセンターが位置する。

課題

- 新築するため、多額のコストがかかる。
- 地理的に少し高台に位置することになる。
- 他の行政機能と複合化を図れないので、利便性が向上しない。

第4回での
主な
ご意見

- 高台に位置するために不便になるということだが、災害時は、広域道路網が充実しているために救助や災害時支援の視点で利便性は高まるだろう。
- 新設するのであれば、美術保存館、健康福祉総合センター、図書館といった機能を集約し、グラウンドをイベントや駐車場に活用できるようにすると良い。
- 美術保存館の作品は新設の施設にまとめた方が空調設備も整っているので管理上も負担がなく、より展示の魅力も伝わるのではないかと。
- 新築するという案は、公共施設の統廃合を進めるワークショップの趣旨には合わない。

新規提案

- 子育て世代の利便性を向上し、市民向けサービス機能をコミュニティセンター周辺に集約するために、行政サービスセンターの福祉機能を八尾コミュニティセンターに複合化し、その他の機能を健康福祉総合センターに入れる案が良い。その際、健康福祉総合センターの名称を変更したい。
- 新設できるのであれば、行政サービスセンターの場所に建て直した方が生活の変化がなく、安全性も確保できるので良い。最初にしっかりお金をかけるという考え方もあるのではないかと。

評価表（第4回資料）

第4回ワークショップでは、第3回の内容を踏まえた各整備方針（案）の評価案について、ご意見をいただきました。

課題	評価項目	A案	判定	B案	判定	C案	判定	D案	判定
① 地域性の考慮	・山や川で地域が分断されていることに配慮し、アクセス性が維持されているか	八尾地域のほぼ中心で、コミュニティバスなどの公共交通でもアクセスできる場所に拠点ができる。	◎	八尾地域の北部に拠点ができるため、南部からのアクセス性が低下する懸念がある。	△	行政機能の一部は八尾地域のほぼ中心に立地するが、地域内に分散して配置される。	○	八尾地域のほぼ中心で、コミュニティバスなどの公共交通でもアクセスできるが、少し高台に位置することになる。	○
② 地域資源の活用	・公共施設を集約化し、集客性、回遊性向上、相互利用促進などにより、地域の活性化に資する案となっているか	多くの方が利用すると想定される複合施設（健康福祉総合センター）に、美術保存館の作品の一部が展示される。	◎	多くの方が利用すると想定される複合施設（八尾コミュニティセンター）に、美術保存館の作品の一部が展示される。	◎	八尾コミュニティセンターに、美術保存館の作品の一部が展示される。	○	八尾コミュニティセンターに、美術保存館の作品の一部が展示される。	○
③ 地域コミュニティの維持	・それぞれの地区の地域行事の場や活動拠点が確保されているか ・必要な避難所が確保されているか	9つの地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターが配置される。	○	9つの地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターが配置される。	○	9つの地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターが配置される。	○	9つの地区ごとに公民館または地区コミュニティセンターが配置される。	○
④ 子育て環境の充実	・公共施設の整備、活用を通じて地域全体で子育て環境を充実させることができるか	行政機能と福祉機能の複合化により子育て世代の利便性向上が期待できる。子育て支援センターが併設される。	◎	行政機能とコミュニティ機能、図書館の複合化により子育て世代の利便性向上が期待できる。	○	行政機能とコミュニティ機能、図書館の複合化により子育て世代の利便性向上が期待できる。	○	公共施設の複合化を伴わないため、子育て世代の利便性向上は期待できない。	△
⑤ 安全性の確保	・危険が予測される河川やがけ地などの近傍への酒配置を避けるよう配慮されているか	行政機能は洪水発生時の浸水想定区域外に立地する。	○	行政機能が洪水発生時の浸水想定区域内に立地する。	△	一部の行政機能が洪水発生時の浸水想定区域内に立地する。	△	行政機能は洪水発生時の浸水想定区域外に立地する。	○
⑥ 機能性・利便性の確保	・サービスの集約化を図り、利便性が高まっているか	八尾健康福祉総合センターでのワンストップサービスの提供が可能となり利便性の向上が期待できる。	◎	八尾コミュニティセンターでのワンストップサービスの提供が可能となり利便性の向上が期待できる。（福祉部門を除く）	○	行政機能を分散して複合化するため、ワンストップサービスは実現しない。	△	複合化を伴わないため、利便性は現状と変わらない。	○
⑦ 運営の工夫	・行政の縦割りによる施設配置・運営の支障を減らすことができるか	複合化により、行政の各部門間の連携が強化され、縦割りによる支障が軽減する。	◎	複合化により、行政の各部門間の連携が強化され、縦割りによる支障が軽減する。	◎	行政機能が分散して配置されるため、縦割りによる支障が軽減されない可能性がある。	△	複合化を伴わないため、現状と変わらない。	○
⑧ 将来負担の軽減	・将来コストが縮減できているか（50年間）	50年事業額【93.5億円】 うち施設整備40.1億円 施設運営53.4億円	◎	50年事業額【93.5億円】 うち施設整備40.1億円 施設運営53.4億円	◎	50年事業額【98.1億円】 うち施設整備41.5億円 施設運営56.6億円	○	50年事業額【111.7億円】 うち施設整備44.6億円 施設運営67.1億円	△

◆ 評価表についてご意見

① 地域性の考慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ A案の評価が◎だが、信号のない五差路が近くにあり、アクセスが良いとは言いきれないので、A案の評価は○にすべきではないか。 ・ B案については、コミュニティバスの乗換は必要ではあるが、多くが車を利用しているし、南部の人もそこまで移動の不便は感じないのではないかと。また、バスの運行を変更するなど方法次第で○になるのではないかと。
④ 子育て環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な機能の複合化で子育て世代の利便性はかなり向上すると思うので、B案の評価は◎で良い。
⑤ 安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ これから新設するD案が、川沿いのA案と同じ○の評価であるのはおかしい。防災面を十分に考慮できると思う。 ・ 水害の危険性があるA案の評価が○なのはおかしい。高台から低い川沿いに移転するのだから△の評価になるだろう。 ・ 浸水想定区域内に行政機能がある案は△となっているが、浸水対策によって○にすることも可能だと思う。
⑧ 将来負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八尾健康総合福祉センターに複合化する際には、面積が足りず増築する可能性が高いので、増築費用が追加されるとA案の評価は○になるのではないかと。 ・ 各案50年先の事業額だけでなく、5年、10年、20年…と比較できるように算出してもらえれば、先々のことを具体的に検討できると思う。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的にA案の評価を高めている気がする。これだけ議論してきたが、結局は、A案にしたいという市の意図を感じる。 ・ D案に美術保存館、八尾健康福祉総合センター、図書館といった他の機能を集約すれば、コスト以外の多くの評価項目の判定が◎に向上すると思う。

全案共通

- 八尾東町分館は八尾図書館に集約化する
- ほたるの里農村公園は地元または民間への譲渡、もしくは廃止する
- 化石資料館や美術保存館は、資料等をより多くの人に見てもらえるよう、来館者の多い施設（科学博物館等）での展示を図った上で廃止する
- 杉風荘は地域の活性化に資するよう地元または民間への譲渡を図るが、譲渡できない場合は廃止する

八尾東町分館について

第3回での
主な
ご意見

- 図書館の集約化に異論はないが、学習スペースや子ども達が過ごせる場所は地区内に残してほしい。
- 八尾東町分館が集約されることで、旧八尾町の歴史や資料が埋もれてしまうことが心配である。

第4回での
主な
ご意見

- 八尾旧町の方にとって徒歩圏内で利便性も高く、親しみがある八尾東町分館は八尾図書館に集約化することを前提とせずに、市の公共施設として残してほしい。
- 八尾東町分館を八尾図書館に集約化することは反対であるが、どうしてもということであれば、せめてふらっと館の施設はそのまま残してほしい。その上で、民間に譲渡しなくてはならない場合は、これまでと変わらず親しみを持ち、利用しやすい施設であり続けられるような条件を付けて、譲渡するようにしてほしい。

ほたるの里農村公園について

第3回での
主な
ご意見

- ほたるの里農村公園は、活性化に向けて様々な試みをし始めている。「廃止」という文言が出てくるのには抵抗がある。廃止をするのではなく、民間に譲渡することでより魅力的な施設にしてほしい。

第4回での
主な
ご意見

- ほたるの里農村公園は、廃止ありきのように見える。廃止という言葉を出さないでほしいと再三言い続けているのに、残っているのはどうということだろうか。近年施設の需要性が高まってきていると思うし、地元で施設の活性化に向けて頑張っている。市はそのサポートをすることから始めてほしい。
- 現在、ほたるの里農村公園を運営されている自治振興会の皆さんが今後どうしていきたいのか、運営側の意向を汲みながら検討を進めてほしい。
- ほたるの里農村公園という名称だと、虫を見に行く以外の目的では使用されないように思ってしまう。名称や機能を変更するという手もあるのではないかな。

化石資料館、美術保存館について

第3回での
主な
ご意見

- 美術保存館や化石資料館は簡単に廃止にするのではなく、もっと広報をしたり、イベントを実施するなどして、反応を見てからでも良いのではないかな。
- 保管されている資料は、人の目に触れてこそ価値が出るものである。来場者の多い施設に展示できるのであれば、施設の廃止は良いと思う。
- 美術保存館の作品は八尾旧町の施設で展示するなどして観光に生かすことも一つの方法だ。複数の場所に展示したり、定期的に学校等に展示しても良いと思う。

第4回での
主な
ご意見

- 化石資料館と美術保存館は、もっと人の目に触れることができる施設へ展示し、廃止するというのは賛成である。
- 美術保存館は、素晴らしい作品が所蔵されているにも関わらず一部の展示だと魅力が伝わりにくい。人の出入りが多い場所は事故が発生する心配もあるので、ふらっと館にまとめて展示すれば、安全性も確保できるし、魅力を伝えることもできるのではないかな。
- 化石資料館は、ゲートボールをする方の休憩所として使われていることもあるので、使われ方を確認した方が良い。

杉風荘について

第3回での
主な
ご意見

- 杉風荘については、古い建物で維持費もかかるため、今後の方向性案も含めて異論はない。
- 杉風荘は、市でまずは利活用の努力をした上で、それでも維持が難しい場合には譲渡といった段階を踏んでほしい。
- 杉風荘は地域の思いを汲んでくれるような民間へ条件付で譲渡してほしい。

第4回での
主な
ご意見

- 杉風荘は、譲渡できなければ廃止となっているが、価値ある建物がなくなるのは惜しいので、古い建物を生かしながら観光拠点となるように工夫してほしい。

● 主に各地区（卯花、黒瀬谷）にお住まいの方が利用する施設の再編案

a案 集会施設を地区の中心側に集約化するプラン	b案 集会施設を地域の中心側に集約化するプラン
<ul style="list-style-type: none"> 八尾農村環境改善センターを廃止し、卯花地区の集会機能を卯花公民館に集約化する 	<ul style="list-style-type: none"> 卯花公民館を廃止し、卯花地区の集会機能を八尾農村環境改善センターに集約化する
<p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> 卯花公民館は地区のほぼ中心となる 卯花公民館は農業環境改善センターに比べバリアフリー化がなされている 現在公民館として供用しており、諸室等の改修が軽微である 	<p>長所</p> <ul style="list-style-type: none"> 卯花公民館と比べ、八尾地域の中心に近い
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 八尾地域の中心から離れる 	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 不足する諸室の改修が必要となる 卯花公民館と比べてバリアフリー化がなされていない 増築したコミュニティセンター部分の空間を持って余すことになる

共通

○黒瀬谷公民館を廃止し、黒瀬谷交流センターを集約化する

第3回での
主な
ご意見

- 農村環境改善センターには土地改良区が入居しており、資料も多く保管されている。集約化するのであれば、土地改良区の今後を検討してほしい。また、それぞれの体育館利用者のことも考慮して検討を進めた方が良さそう。そのようなことを踏まえると、短期的取組みでは時間が足りないと思う。
- 卯花公民館は設備の整備がされている上に、地区の中心にあるので、集約化は住民の理解を得やすいと思う。（a案）
- 日々業務を行っている事務所の移転よりは、貸スペースが主な公民館機能を移転させた方がスムーズではないか。（b案）
- 黒瀬谷公民館より黒瀬谷交流センターを利用している人が多いので、部屋数の確保ができれば理解を得やすいだろう。（共通）

第4回での
主な
ご意見

- コミュニティ機能がもともとある卯花公民館に集約化の方がコミュニティの面でも、コスト面でも良さそう。土地改良区の今後のあり方も含めて、配慮すればa案が良い。
- 農村環境改善センターを集約する場合は、土地改良区を移転する必要がある。すぐに集約するのではなく、時間をかけて利用者と協議をしながら進めてほしい。
- 黒瀬谷交流センターと黒瀬谷公民館は管轄が異なる施設だが、集約化はスムーズに進めることができるのだろうか。

その他のご意見（抜粋）

◆ 地域別実行計画の方針（案）について

1) 方針（案）全般

- 用途別の再編方針案の中長期的取組みに「譲渡もしくは廃止する」とあるが、廃止と譲渡という言葉が並列で使われると、譲渡先を探す努力をせずに、結局は廃止するつもりなのではないかという不信感が生まれる。

2) 個別具体施設

(4)スポーツ施設

- サンパークの利用率が低く、夜間の利用も少ないのであれば、夜間使用中止はやむを得ないのではないかな。
- 夜間使用の中止については、夜間利用者からの意見を聞いた上で最終判断してほしい。

(7)学校

- 今後の方向性及び具体的な取組みは、案の通りで良いと思う。
- 学校の統廃合については、本ワークショップのほか、農林関係部門をはじめ様々な部署で議題となっている。教育委員会はもちろん、他部署の取組みや計画と連携をとりながら、方向性を検討してほしい。
- 樫尾小学校は、保護者等からの反対があり統廃合しなかった経緯がある。将来的に時期がくれば統廃合の流れには逆らえないことだとは思いますが、これまでの経緯を踏まえると短期的な取組みにあえて「統廃合の検討に着手する」と方針を示さなくても良いのではないかな。（第3回の資料に記載）
- 入善町や朝日町では学校廃校後に校舎を活用し、他県から人が集まる農業研修施設とした事例がある。樫尾小学校も建物自体は古くないので、統合後の跡地利用を検討することはできないだろうか。

(8)幼保・子ども園

- 統廃合などをする場合は、通園距離が遠くなることで送迎の負担が大きくなるように配慮してほしい。

その他全般

- 現在の行政サービスセンターは、今後どうする予定なのか。移転後の施設を放置することなく、今後の使い方を考えた上で公共施設の再編をしてほしい。
- 行政サービスセンターは、障がい者が書類申請等で年に1度は必ず行くので、そのような人達にとって立地も含めて利用しやすい施設にする必要があるだろう。
- 施設を集約、あるいは廃止した後、建物をそのまま放置することがないようにしてほしい。
- 今のうちに初期投資をして、長い期間、施設を利用するという考え方はできないのか。市として本当に今、新設がふさわしくないことを具体的に検討した上で各案を提示しているのだろうか。

◆付帯事項

- 八尾地域は川に囲まれている地域なので、どの案も安全とは言い切れない。どの案になったとしても、すべての種類の災害に対策を講じてほしい。
- どの案になっても、高齢者や障がい者の方がアクセス面で不便になることがないように、フォローできる仕組みを同時に考えながら計画づくりをしてほしい。コミュニティバスの充実は、どの案になっても共通の課題だと思う。
- 様々な行事の際に駐車場が足りないという問題が起きているので、どの案になっても駐車場の充実を図れるように検討してほしい。

ご意見募集

ワークショップに参加された方だけでなく、多くの八尾地域の皆様のご意見を今後の計画に反映させたいという考えのもと、ご意見を募集します。

- **ワークショップで検討された内容について**
- **八尾地域のまちづくりや公共施設について**

下記の「お問い合わせ先」まで、メール・ファックス・郵便・持参により、どうぞお気軽にお届けください。差し支えなければ、ご住所、お名前、年齢、性別、連絡先の記載をお願いします。

皆様のご意見をお待ちしています！



お問い合わせ先

富山市企画管理部行政経営課
 電話：076-443-2021
 ファックス：076-443-2170
 E-mail：gyousei-01@city.toyama.lg.jp

公共施設マネジメントに関する情報

富山市の公共施設マネジメントに関する情報はHPでご紹介しています。
<http://www.city.toyama.toyama.jp/kikakukanribu/gyoseikeieika/sougoukanrikeikaku/sougoukanrikeikaku.html>